

採択理由

プログラム名：若手研究者の自立的な研究環境整備促進
課題名：宮崎大学型若手研究リーダー育成モデル
代表者名：住吉 昭信
所属機関名：宮崎大学

コメント

統合がなされた地方中規模大学のメリットを最大限に生かすため、若手研究リーダーの育成が重要との認識のもと、「生命科学」の異分野融合研究の4分野を重点研究分野として設定し、学長のリーダーシップによって「IR推進機構」を設置し、トロイカサポーター体制で人材育成を図るという明確な方針は評価される。特に、強力な学長のリーダーシップ体制が確立され、人事システム改革が進むことが期待される。外国人・女性の採用比率を50%以上とし、女性教員への支援システムの確立や外国籍研究者への配慮がなされているなど若手研究者の多様性への配慮も適切であり育成環境も十分に整備されている。提案には全学の意志が十分に示され、計画も具体的であり、また既に公募審査基準・テニユア審査基準も決定されているなど、採用計画にも具体性と継続性があり定着化への工夫も見られるので、着実な実行が期待される。IR推進機構で育成されテニユア職を取得した後は希望する部局へ配属するなど、テニユア取得に十分な配慮がなされているが、その配属が適切に進む方策を明確にしていきたい。